

門脈塞栓術を受けられる()さんへ

入院時に持参してください。

説明日(/) 説明者氏名() STP6300100

月日(日時)	(/)	~(/)	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/)
経過(病日等)	入院日	~手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後 病棟観察室収容)	手術後1日目	手術後2~3日目	手術後4~5日目	手術後5~6日目	手術後7日目
達成目標	◇手術について理解できている ◇身体的準備が出来ている ◇精神的準備が出来ている			◇血圧・脈拍が安定している ◇呼吸が安定している ◇痛みがコントロールできる ◇深部静脈血栓症の症状・所見がない ◇肝不全の症状・徴候がない ◇経口摂取が可能な状態にある					◇発熱などの合併症がない 【退院基準】 ・発熱がない ・合併症の症状がない ・創部に問題がない
治療・薬剤 (点滴・内服)		手術する部位の毛を剃ります おへそをきれいにします	麻酔科医の指示で 起床時に薬を内服する場合があります	鼻から胃に管を入れます 酸素マスクをしています 点滴を24時間行います					
処置	内服がある方は薬を確認します。 ワファリンを飲んでいる方は 点滴に変わることがあります	点滴があります 15時に下剤を飲みます 21時に下剤と安定剤を飲みます	朝6時に流腸します 手術着に着替えます 弾力ストッキングをはきます	肝機能を改善する注射があります 心電図モニターをつけます	手術前から内服している薬がある方は医師の指示で薬を再開します			手術後6日ごろに鉤を取ります (創部の状況では変更になる場合があります)	
検査	採血・レントゲン・心電図・肺機能検査があります 身長・体重を測定します			胸腹部のレントゲン・血液検査があります	胸腹部のレントゲン・血液検査があります				
活動・安静度	病院内歩行は自由です			ベッド上で安静です 寝返りは出来ます	看護師と一緒に立つ練習からはじめて病棟内を歩行訓練します 看護師が起立時は介助する場合があります 病棟内は歩行できます 歩行の際、看護師が付き添います			院内を歩行できます	
安全	ナースコール・ベッド柵を設置します 運動靴の使用をお願いします								
食事		夕食から欠食です	水分も食事も取ることができません	胃管を抜いたら水分を取る事ができます	食事は欠食です	2日目から3分粥開始し、徐々に食事の形態を上げます			
清潔	入浴やシャワーできます	体を清潔にし髪を洗って下さい 爪切りをしてください	洗面・歯磨きをして下さい 男性の方は髭剃りもして下さい		体拭きをします			傷の状態が良ければシャワーに入れます	
排泄				尿の管が入ってきます 排便時は、ベッド上で便器かオムツを使用します					
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟の案内をします 手術までの流れについて わからないことは説明します 呼吸訓練を続けて行います ★腹式呼吸・口ずぼめ呼吸 ★咳・痰出しの練習 ★術後疼痛について説明します 禁煙はできていますか？ ご本人及びご家族に手術の説明を行います ★薬剤師より現在内服中の薬について説明します	麻酔科医師、手術室看護師が会いに来ます 手術に必要な物品がそろっているか確認をしますので、1つの袋にまとめてください (看護師が預かります) 手術中、家族の方は4階の家族控え室又は病棟で待機して下さい 離れる際は必ず病棟まで連絡をお願いします	入れ歯・時計・指輪・湿布・眼鏡・コンタクトレンズ・かつらなど手術室に行く前に必ずはずして下さい 貴重品は必ずご家族に預けてください 手術が終わり次第、電話で連絡致しますので家族の方は、面会されてください 主治医からの説明があります	痛みが強いときは痛み止めを使います。遠慮なく言って下さい 呼吸訓練を1日3回します ★痰をしっかり出して肺を広げ 手術が終わり次第、電話で連絡致しますので家族の方は、面会されてください				日常生活の注意点について説明します	診断書・証明書が必要な方は早めに提出してください。
必要に応じ、担当の医療ソーシャルワーカー(MSW)がお話を伺いながら転院・退院までの支援を行います									

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。

注3 術後の状態に応じて予定は変更することがあります
変更時はその都度説明を行いますので不明な点がある際はお尋ね下さい

久留米大学病院 肝胆脾外科 西棟11階病棟
2023.6月改訂